

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [ドロッカーの言葉③](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

## ドロッカーの言葉③

## コミュニケーションは組織のあり方そのもの

コミュニケーションは、私からあなたへ伝達するものではない。

それは、われわれのなかの一人から、われわれのなかのもう一人へ伝達するものである。

これまでの失敗から学んできたところと今日のニーズの大きさからするならば、組織においてコミュニケーションは単なる手段ではない。

それは組織のあり方である。

## 社員の話に耳を傾ける

知識労働者が成果をあげている大組織では、トップマネジメントが定期的に時間を割き、ときには新入社員に対してまで、あなたの仕事について何か気になることはないか、われわれが手をつけていない機会はどこにあるか、気づいていない危険はどこにあるか、この組織について私に聞きたいことは何かとじっくり聞いている。

## 共に働く人たちを理解する

成果をあげる秘訣の第一は、共に働く人たち、自らの仕事に不可欠な人たちを理解し、その強み、仕事の仕方、価値観を活用することである。

仕事とは、仕事の論理だけでなく、共に働く人たちの仕事ぶりに依存するからである。

## 働く者に責任を与える

実際に仕事をしている人間こそが、何が生産性を高め、役に立ち、邪魔になるかをもっともよく知っている。したがって、知識をもち、技能をもち者本人に対して責任を与えることが必要である。

## ボランティアの動機づけが必要

動機づけ、特に知識労働者の動機づけは、ボランティアの動機づけと同じである。

ボランティアは、まさに報酬を手にしないうえに、仕事そのものから満足を得なければならない。

何よりも挑戦の機会を与えられなければならない。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.